

1

〔問題1〕 10点

- ・今の人はあまり食べないが、畑の四季を伝える（野菜の味……）
- ・普通は食べないが、季節の移ろいを感じさせる（野菜の味……）

〔問題2〕 10点

（種子） ↓ B ↓ D ↓ A ↓ C ↓ （種子）

〔問題3〕 a・b 各5点 c 10点

a 白菜 b 百歳

- c 百歳を十倍した千歳と同音の繊細をかけあわせて花の美しさを表し、さらに、その十倍の万歳と喜びを表す万歳をかけあわせて花のおいしさを表している

〔問題3〕（作文例 四八二字） 60点満点

筆者は、皿の上のっている野菜や野草がどこでどんな風に育って、どのように採られたのかを考えることで「納得して食べる」ことができ、これによって、食物の味や香りは何倍にもふくらむものだと思っている。

私は小学五年生のとき、学校の授業で稲作を体験した。五月ごろに行った田植えでは、長ぐつをはいて水田に入り、稲を一本一本手で植えていったが、どろに足をとられるので、思った以上に重労働だった。秋の収穫の際には、機械によるだっこくや精米の工程まで見学させてもらい、自分が普段なんとなく食べていた米が、稲の種子であり、ご飯になるまでに手間がかかっていることを実感した。その米を給食で食べるときには、先生が農家の方からのお手紙を音読してくれたことで、その水田の景色や以前行った農作業を思い起こし、ご飯をおいしく食べることができた。

このように、同じものを食べても、その食物が作られるまでの過程を知っていると、味わいもひとしおだ。私はハンバーグやチャーシューなどの肉料理を好んで食べてきたが、筆者の言うように、季節を感じられる野菜についても、これからもっと深く知っていききたいと思う。